

平成 12 年 東海豪雨 西区あし原町・新川破堤箇所
(「東海豪雨水害に関する記録 (名古屋市)」より)



災害対策委員 News とは
市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し
役をお願いしている災害対策委員 (区政協力
委員が兼務) の皆様に、防災に関する情報を
この News で定期的にお届けいたします。

名古屋市では、平成 12 年 9 月の東海豪雨において、
新川左岸堤防が破堤し、天白川流域でも氾濫が発生す
るなど、市内の約 37%が浸水しました。

近年、全国各地で豪雨災害が頻発しています。名古屋
市でいつ起きてもおかしくない大規模風水害に対す
る備えを、今一度見直してみましよう。

TOPIC 防災に関する備えはこの1冊で!

～「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を作成～

風水害、地震、津波などの災害リスクを掲載したハザードマップと、防災情報や日ごろからの
備えなどを掲載したガイドブックを「なごやハザードマップ防災ガイドブック」としてまとめてい
ます。令和 4 年 6 月以降市公式ウェブサイトに掲載し、令和 5 年 3 月には全戸配布を行う予定です。

名古屋市 防災マップ (暮らしの情報) 🔍 検索



「なごやハザードマップ防災ガイドブック」とは?

ハザードマップ

次の災害のハザードマップ等を作成

- 洪水 ●内水氾濫 ●高潮 ●地震
- 津波 ●ため池氾濫 ●指定避難所

POINT “想定最大規模” の風水害

近年全国各地でかつて経験したことのない
記録的な大雨による被害が発生していること
を踏まえ、発生頻度は低いものの、過去の
災害規模を上回る「**想定し得る最大規模**」
の風水害 (洪水、内水氾濫、高潮) ハザードマッ
プを作成しました。

(広報なごや特集号(令和4年3月)
にて、事前にお知らせしていま
す。)



防災ガイドブック

災害ごとの注意点、身を守るための行動、
被災したときの心得やマイ・タイムライン
などを掲載。

POINT マイ・タイムラインの作成

マイ・タイムライン
は、災害時に「いつ」
「誰が」「どのように」
行動するかを時間の
流れに沿って考え
ておくものです。
(ガイドブックには、マイ・
タイムラインを作るための
解説も記載しています。)

災害対策委員の皆様から 周知・啓発をお願いします

台風・大雨など災害の発生に備え、地域住民の方々が防災に関する次のような取り組みを行っていたら、地域の防災リーダーである災害対策委員の皆様からの周知・啓発をお願いいたします。

① 避難行動の見直し

新しいハザードマップを見ながら、次のことを確認・検討しておきましょう。

- 自宅・自宅周辺に災害リスクはあるか
- 自宅近くの指定緊急避難場所はどこか
- 災害時、どこにどの経路で避難するか

② 防災情報の理解・入手

災害時に市から出される「避難を判断するための情報」の意味を理解し、その情報を確実に手に入れられるように、いろいろな手段を試してみましょう。

【防災情報を入手する方法の例】

- テレビ・ラジオ
- 市公式ウェブサイト
- 緊急速報メール・きずなネット防災情報
- 市公式SNS Twitter (名古屋市防災)
Facebook (名古屋市防災)
LINE (名古屋市)

③ 身を守るための助け合い

災害時には近隣で助け合う「共助」が必要不可欠です。日ごろから顔の見える関係を築き、災害に備えましょう。

- 日ごろのお付き合いを大切に
- 地域の防災訓練や行事に参加

避難に時間のかかる方（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は、「警戒レベル3 高齢者等避難」で避難する必要があります。



▼ 避難行動の目安

家がある場所は次の区域内ですか？

- ・土砂災害(特別)警戒区域 ※1
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域 ※2

はい
いいえ

浸水のおそれのない高さに部屋はありますか？

いいえ
はい

浸水の目安

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

いいえ
はい

指定緊急避難場所へ 親戚・知人宅などへ 自宅にとどまることも可能

●土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンションなどの上の階に住んでいる場合は、自宅にとどまり、安全確保することも可能です。
●浸水時間が長い場合は、家から外に出れなくなったり、ライフラインが使えず衛生環境が悪化したりするなど、生活に支障がでることがあります。そのため、食べものや飲みものなどの十分な備えが必要です。
●「親戚・知人宅」などへの避難の場合は、各市町村の公式ウェブサイトなどでハザードマップを確認しましょう。

名古屋市宿泊施設避難助成金制度

※1または※2の区域にお住まいの方は、ホテル・旅館等へ避難する際に助成金制度を利用できる場合があります。

▼ 避難を判断するための情報

警戒レベル	名古屋市から出される避難情報	とるべき行動
5	きんきゆうあんぜんかくほ 緊急安全確保 必ず発令されるとは限りません	命の危険 直ちに安全確保
4	ひなんしじ 避難指示	危険な場所から 全員避難
3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	避難に時間のかかる 高齢者や障害のある人などは 危険な場所から避難

■警戒レベル1、2は気象庁が発表する注意報など